

柏井 1 3年ぶりの5度目の栄冠<男子>

敬愛学園<女子>堂々の6年連続11回目

去る8月19日・20日に、第30回千葉市民ジュニアバレーボール大会(千葉市民総体の一環)が開催された。男子は、近年力をつけた磯辺と柏井高が対戦、柏井が粘る磯辺を振り切り、13年ぶりの栄冠を手にした。一方女子は、県大会でも常に上位に顔を出す千葉市3強(敬愛学園・柏井・幕張総合)のうち、今年も敬愛学園と柏井高の決勝戦。懸命に攻める柏井を強烈な攻撃で粉碎した敬愛学園が、6年連続11回目の優勝を飾った。

<男子>

{A}

県千葉	2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 21 \\ 25 & - & 22 \end{bmatrix}$	0	千葉東	敬愛学園	2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 17 \\ 17 & - & 25 \\ 27 & - & 25 \end{bmatrix}$	1	千葉東
-----	---	--	---	-----	------	---	---	---	-----

県千葉	2	$\begin{bmatrix} 21 & - & 25 \\ 25 & - & 22 \\ 25 & - & 23 \end{bmatrix}$	1	敬愛学園
-----	---	---	---	------

{B}

柏井	2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 10 \\ 25 & - & 6 \end{bmatrix}$	0	昭和秀英	磯	橋	$\begin{bmatrix} 25 & - & 13 \\ 25 & - & 12 \end{bmatrix}$	0	渋谷幕張
----	---	---	---	------	---	---	--	---	------

柏井	2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 22 \\ 25 & - & 14 \end{bmatrix}$	0	磯橋	渋谷幕張	2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 8 \\ 28 & - & 26 \end{bmatrix}$	0	昭和秀英
----	---	--	---	----	------	---	---	---	------

柏井	2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 3 \\ 25 & - & 5 \end{bmatrix}$	0	渋谷幕張	磯橋	2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 13 \\ 25 & - & 13 \end{bmatrix}$	0	昭和秀英
----	---	--	---	------	----	---	--	---	------

{ C }

磯	辺 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 12 \\ 25 & - & 10 \end{bmatrix}$	0 千葉工業	市立千葉 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 13 \\ 25 & - & 12 \end{bmatrix}$	0 京葉工業
磯	辺 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 11 \\ 25 & - & 7 \end{bmatrix}$	0 京葉工業	千葉工業 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 18 \\ 25 & - & 20 \end{bmatrix}$	0 市立千葉
磯	辺 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 0 \\ 25 & - & 0 \end{bmatrix}$	0 市立千葉	千葉工業 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 9 \\ 25 & - & 8 \end{bmatrix}$	0 京葉工業

{ D }

千葉北高 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 18 \\ 25 & - & 12 \end{bmatrix}$	0 幕張総合	千葉南高 2	$\begin{bmatrix} 26 & - & 24 \\ 14 & - & 25 \\ 26 & - & 24 \end{bmatrix}$	1 千葉西高
千葉北高 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 12 \\ 25 & - & 8 \end{bmatrix}$	0 千葉西高	幕張総合 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 17 \\ 14 & - & 25 \\ 25 & - & 13 \end{bmatrix}$	1 千葉南高
千葉北高 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 22 \\ 25 & - & 19 \end{bmatrix}$	0 千葉南高	幕張総合 2	$\begin{bmatrix} 23 & - & 25 \\ 25 & - & 15 \\ 25 & - & 11 \end{bmatrix}$	1 千葉西高

<決勝トーナメント>

{1回戦}

県立千葉2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 14 \\ 25 & - & 16 \end{bmatrix}$	0	幕張総合	磯	辺2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 15 \\ 25 & - & 23 \end{bmatrix}$	0	犢	橋
-------	--	---	------	---	----	--	---	---	---

千葉北2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 20 \\ 25 & - & 22 \end{bmatrix}$	0	敬愛学園	柏	井2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 16 \\ 25 & - & 9 \end{bmatrix}$	0	千葉工
------	--	---	------	---	----	---	---	-----

{準決勝}

磯	辺2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 21 \\ 25 & - & 16 \end{bmatrix}$	0	県立千葉	柏	井2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 15 \\ 25 & - & 15 \end{bmatrix}$	0	千葉北
---	----	--	---	------	---	----	--	---	-----

{決勝}

柏	井2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 22 \\ 25 & - & 13 \end{bmatrix}$	0	磯	辺
---	----	--	---	---	---

(13年ぶり5回目の優勝)

近年千葉市大会では常に上位に顔を出す両校の戦い。

柏井蕨の連続スパイクで始まった第1セット。序盤磯辺のレシーブ陣が乱れ、柏井が優位に試合を進める。ところが柏井の連続スパイクミスが中盤で出ると、流れは一変、一進一退の攻防となった。柏井のタイムアウト後、松田の連続得点でついに磯辺が同点に追いついた。しかしここで柏井寺田がブロック。これで突き放した柏井は、磯辺の懸命の粘りによる長いラリーを制して、終盤へ。最後は西谷がスパイクを決めて、柏井が第1セットを奪った。

第2セット序盤は、磯辺向野、柏井蕨遼エースの撃ち合いから点の取り合いが続いたが、中盤以降、柏井のブロックやサイド攻撃が効果的に決まりリードを広げる。最後は、レシーブで粘る磯辺の穴を冷静についたフェイントが決まり、柏井が久々の優勝を飾った。13年ぶり5回目の優勝であった。

<女子>

{ A · B }

植草大附 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 7 \\ 25 & - & 9 \end{bmatrix}$	0 千葉東 千葉明徳 2	$\begin{bmatrix} 27 & - & 25 \\ 19 & - & 25 \\ 25 & - & 19 \end{bmatrix}$	1 市立千葉

市立稻毛 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 23 \\ 25 & - & 12 \end{bmatrix}$	0 市立千葉 市立稻毛 2	$\begin{bmatrix} 15 & - & 25 \\ 25 & - & 14 \\ 25 & - & 22 \end{bmatrix}$	1 千葉明徳

植草大附 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 8 \\ 25 & - & 13 \end{bmatrix}$	0 千葉明徳 千葉東 2	$\begin{bmatrix} 14 & - & 25 \\ 25 & - & 14 \\ 25 & - & 19 \end{bmatrix}$	1 市立稻毛

{ C }

千葉商業 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 22 \\ 25 & - & 13 \end{bmatrix}$	0 磯辺 渋谷幕張 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 0 \\ 25 & - & 0 \end{bmatrix}$	0 千城台高

千葉商業 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 0 \\ 25 & - & 0 \end{bmatrix}$	0 千城台高 磯辺 2 渋谷幕張	$\begin{bmatrix} 25 & - & 7 \\ 25 & - & 13 \end{bmatrix}$	0 渋谷幕張

千葉商業 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 8 \\ 25 & - & 7 \end{bmatrix}$	0 渋谷幕張 磯辺 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 0 \\ 25 & - & 0 \end{bmatrix}$	0 千城台高

{ D · E }

若松 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 19 \\ 25 & - & 7 \end{bmatrix}$	0 積橋 千葉女子 2	$\begin{bmatrix} 20 & - & 25 \\ 25 & - & 21 \\ 26 & - & 24 \end{bmatrix}$	1 千葉西高

千葉西2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 13 \\ 25 & - & 18 \end{bmatrix}$	0 県立千葉	千葉女子2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 22 \\ 28 & - & 26 \end{bmatrix}$	0 県立千葉
------	--	--------	-------	--	--------

若松2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 5 \\ 25 & - & 12 \end{bmatrix}$	0 千葉西高	千葉女子2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 5 \\ 25 & - & 17 \end{bmatrix}$	0 檜橋
-----	---	--------	-------	---	------

{F}

千葉南高2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 19 \\ 25 & - & 14 \end{bmatrix}$	0 土氣	検見川高2	$\begin{bmatrix} 24 & - & 26 \\ 25 & - & 21 \\ 25 & - & 15 \end{bmatrix}$	1 昭和秀英
-------	--	------	-------	---	--------

千葉南高2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 16 \\ 25 & - & 15 \end{bmatrix}$	0 昭和秀英	土氣2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 17 \\ 25 & - & 23 \end{bmatrix}$	0 検見川高
-------	--	--------	-----	--	--------

千葉南高2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 23 \\ 25 & - & 21 \end{bmatrix}$	0 検見川高	土氣2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 15 \\ 25 & - & 15 \end{bmatrix}$	0 昭和秀英
-------	--	--------	-----	--	--------

<決勝トーナメント>

{一回戦}

千葉商業2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 15 \\ 25 & - & 15 \end{bmatrix}$	0 土氣	千葉南2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 19 \\ 25 & - & 23 \end{bmatrix}$	0 磯辺
-------	--	------	------	--	------

千葉女子2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 19 \\ 25 & - & 9 \end{bmatrix}$	0 千葉東
-------	---	-------

{準々決勝}

敬愛学園 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 3 \\ 25 & - & 10 \end{bmatrix}$	0 千葉商業 植草大附 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 19 \\ 20 & - & 25 \\ 25 & - & 12 \end{bmatrix}$	1 若 松
幕張総合 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 8 \\ 25 & - & 14 \end{bmatrix}$	0 千葉南 柏 井 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 11 \\ 25 & - & 7 \end{bmatrix}$	0 千葉女子

{準決勝}

敬愛学園 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 10 \\ 25 & - & 19 \end{bmatrix}$	0 植草大附
--------	--	--------

敬愛学園に2年連続で挑む植草学園大附属。

第1セット、敬愛の攻撃に面白いように決まる。金子と植村が二人でスパイク・ブロックに連続5点。さらに高見澤の連続でスパイクを決め12-2と圧倒する。植草もようやく助川のトスに応え、稻吉・上別府・佐野が反撃し13-8まで追いすがったが、敬愛澤井・西間木がスパイク、栗林も2ブロックポイントと活躍し、25-10と奪った。

第2セット、メンバーを入れ替えて臨んだ敬愛に対し、植草が序盤から開き直った攻撃で抵抗、植草佐野や馬場が活躍したが、12-9と敬愛のリードは変わらない。ところが中村・吉沢・井川などが順調に加点し流れを渡さなかつた敬愛が突然ミスを繰り返す。3連続スパイクミスは痛い。勢いに乗った植草が17-13と逆転した。しかしさすが敬愛、ここから踏ん張り再び逆転する。こうなると、植草に再逆転する気力は残っておらず、25-19と敬愛に振り切られた。

柏 井 2	$\begin{bmatrix} 25 & - & 22 \\ 25 & - & 21 \end{bmatrix}$	0 幕張総合
-------	--	--------

敬愛学園への挑戦権を得るのは、柏井か幕総か。

第1セット序盤、幕総が村田・草野のスパイクでリードを奪えば、柏井赤鳥・日下のスパイクで追いつくという展開。高木のスパイクで柏井が一歩抜け出すと、8-5さらに12-8とリードを広げた。しかし幕総も高山らのスパイクで13-12と追いすがる。ここで柏井日下がきれいにストレートを打ち抜き優位に立ったかと思いきや、今度は幕総杉山がクロスに決め、更に桑田のサービスエースで、ついに18-17と逆転した。ここで柏井日下が、ストレート

・クロスにスパイクを打ち分け、最後はブロックでセットポイントを奪い、柏井が25-22で先取した。

第2セットは今度は幕総が先行し、柏井が追いかける展開。幕総高山がつなぎのスパイクを上手く柏井のコートに落とし、8-5とリードした。しかしここから2連続スパイクミスで次第に流れは柏井へ。高木の2連続サーブスエースも効果的で、常に柏井がリードする展開と変わった。幕総は苦しい中杉山・村田のクロススパイクで抵抗するも、一度もリードを奪えず、25-21で押し切られた。

{決 勝}

敬愛学園 2
$$\begin{bmatrix} 25 & - & 21 \\ & & \\ 25 & - & 10 \end{bmatrix} 0$$
 柏 井

(6年連続11回目の優勝)

30回を迎える千葉市大会で、敬愛10回・柏井16回と優勝をほぼ独占する両校。KK対決が始まった。

第1セット序盤から、敬愛高根沢がスパイクにブロックに活躍を見せ、貝塚・吉沢・西間木らサイド攻撃陣もセッターで主将の池添のトスに応え小気味いい攻撃を仕掛けていく。一方柏井の赤鳥・宮本のスパイク、石井のブロックなどで抵抗するが、今年の敬愛は凡ミスが少ない。中盤以降は最大詰められても4点差、これを最後まで維持し、池添のブロックで、第1セットを奪った。

第2セットになると、敬愛の攻撃は益々磨きがかかる。金子がブロックにスパイクに活躍、負けじと西間木・吉沢も思い切りの良いスパイクで点差を広げにかかる。栗林のブロックを2本決めるなど完全にリズムに乗った。柏井も高木がAクイックを、日下のスパイクもと抵抗するが、敬愛の勢いを止めることができず、最後は吉沢が決めて、25-10と思わぬ大差で敬愛学園が奪取、ついに6年連続と記録を伸ばし、11度目の優勝を飾った。

(文責：千葉市バレーボール協会高校部会)